

評価方法の見直しを見据えた取組の整理について

協議会からのご意見 (令和5年報告書)

基本方針ごとの具体的な取組状況の点検・評価等の方法について、わかりやすい手法を検討すること。

事務局による検討

「十分な効果・一定の効果…」といった評価基準の表現がわかりにくい。また、取組によっては評価を行うことが難しい。



① 毎年度の進捗管理や評価を行うことが難しい取組や、空家対策には間接的な影響となる取組等については、進捗管理や評価を行わない。

② 進捗管理や評価を行う取組は、現計画の終期に、定性的評価 + 次期計画の方向性を示す。
※進捗管理は毎年度行う。

① 進捗管理や評価を行わない取組の整理

※具体的なイメージ

進捗管理・評価を行わない項目

現在

番号	具体的な取組	取組状況	評価
1-1	空家化予防に対する 庁内連携体制の 整備・強化	庁内関係課からなる「船橋市空家等対策検討連絡会」に、新たに福祉部門の代表として福祉政策課長を加えた。 会議においては、令和4年度の取組状況の評価についての協議や、空家法改正に係る情報共有等を行った。	A (十分な効果があった)
▲-▲	△△△△△事業	△△△△の件数:△件	A (十分な効果があった)

見直し案

・体制の整備は確立済みで、毎年進捗させる
ものではなく、評価することも不要と考えられる。



番号	具体的な取組	取組状況	評価
1-1	空家化予防に対する 庁内連携体制の 整備・強化		
▲-▲	△△△△△事業	<ul style="list-style-type: none"> ・主目的が空家等対策以外の 他課事業で、助成件数等が直接 空家等の解消に繋がるとは限らない。 	<p>進捗管理・評価を行わない</p>

② 計画終期の評価方法と時期計画の方向性

※具体的なイメージ

定性的管理を行う項目

現在

番号	具体的な取組	取組状況	評価
1-3	空家等にさせないための啓発活動の実施・強化	窓口でのパンフレット等の配架や、死亡届や転出届提出時の案内、エンディングノートの配布、固定資産税の納税通知書(約22万通)に案内文を同封するなど、空家等にしないための意識啓発を行った。	B (一定の効果があった)

見直し案



各取組に合わせた定性的な評価

番号	具体的な取組	取組状況	評価	次期の方向性
1-3	空家等にさせないための啓発活動の実施・強化	窓口でのパンフレット等の配架や、死亡届や転出届提出時の案内、エンディングノートの配布、固定資産税の納税通知書(約22万通)に案内文を同封するなど、空家等にしないための意識啓発を行った。	様々な方法で啓発活動を実施したことで、多様な立場の市民に周知することができた。今後も周知方法を検討・増加させていく必要性が高い。	拡充 継続 縮小

② 計画終期の評価方法と時期計画の方向性

※具体的なイメージ

定量的管理を行う項目

現在

番号	具体的な取組	取組状況	評価
2-2	所有者等からの相談受付、適切な管理の促進及び支援【優先】	庁内関係部署への橋渡しや、相談内容に応じて関連事業者や専門家団体を紹介するなど、所有者等への適切な管理を促しました。 所有者等からの相談受付件数:35件 (令和4年度:28件)	A (十分な効果があった)



各取組に合わせた定性的な評価

見直し案

番号	具体的な取組	取組状況	評価	次期の方向性
2-2	所有者等からの相談受付、適切な管理の促進及び支援【優先】	所有者等からの相談受付件数(件)	関連事業者や専門家団体等への相談が必要と思われる所有者等の増加に対応し、適切な管理の促進及び支援を図ることができた。今後も拡充が望まれる。	拡充 継続 縮小
		R3		
		R4		
		R5		
		R6		
		R7		
		42		
		28		
		35		
		…		
		…		